



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月14日

上場会社名 株式会社ビジュアル・プロッシング・ジャパン 上場取引所 東
コード番号 334A URL <https://www.vpj.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）三村 博明
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長 （氏名）松本 勝裕 TEL 03-6772-8056
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第1四半期の業績（2025年1月1日～2025年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第1四半期	292	—	45	—	31	—	21	—
2024年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	14.88	14.71
2024年12月期第1四半期	—	—

- （注）1. 2024年12月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2024年12月期第1四半期の数値、対前年同四半期増減率及び2025年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 当社は、2025年3月25日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2025年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2025年12月期第1四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期第1四半期	1,436	1,120	78.0
2024年12月期	1,107	782	70.7

（参考）自己資本 2025年12月期第1四半期 1,120百万円 2024年12月期 782百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	13.11	13.11
2025年12月期	—				
2025年12月期（予想）		0.00	—	15.74	15.74

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	602	△2.3	77	△15.8	77	△17.6	44	△29.2	29.17
通期	1,356	12.3	223	22.1	223	21.1	130	6.5	81.29

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 1株当たり当期純利益については、2025年3月25日付で払込完了した公募（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行に伴う公募増資分（255,000株）及び2025年4月16日に払込完了したオーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資（6,900株）を含めて算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 1 Q	1,655,000株	2024年12月期	1,400,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	一株	2024年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 1 Q	1,422,667株	2024年12月期 1 Q	一株

（注）2024年12月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2024年12月期第1四半期における期中平均株式数を記載しておりません。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績等予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
(重要な後発事象の注記)	5

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大等により、社会経済活動が緩やかに回復し社会経済活動の正常化が進む一方、世界的な情勢不安の継続により物価上昇や円安傾向が未だ継続するとともに、米国大統領の政策による影響は引き続き不確定要素であり、関税引き上げ、米中の貿易摩擦の再燃、地政学リスクの高まりなどによって依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社が事業展開する情報・サービス産業界ではAI・自動化の話題性もあり、引き続きDX（デジタルトランスフォーメーション）のニーズと関心は高い状況にあります。その結果、当社の事業も主力製品のDAM（デジタルアセットマネジメント）とPIM（プロダクトインフォメーションマネジメント）システムであるCIERTOを中心に順調に推移しており、当社が訴求する「企業活動における媒体・コンテンツの制作・管理・配信のためのDXソリューション」のビジネスは着実にマーケットに浸透してきました。

既存ビジネスは、年初のサブスクリプション及び保守サービスの増収により売上に貢献しました。

新規ビジネスは、クラウドサービスを中心にCIERTO DAM | PIMの新規納入が13件と前年同四半期実績件数の2倍を超えて売上に貢献するとともに、CIERTOの既存顧客に対する増設・拡張による案件が売上に貢献しました。

その結果、当社の重要な指標であるCIERTOの新規契約数は13件（前年同四半期比7件増）となり、累計の利用本数は254本、ARRは829,840千円（同17.0%増）、解約率は0.50%（同27.6%減）といずれも安定的に推移しました。

開発ビジネスにおいては、小規模な開発案件が複数完了したことで売り上げに貢献しております。また、当期における業績予想の通り、当期第4四半期に完了を予定する大規模な開発案件の活動を実施しております。

その他、当第1四半期累計期間において2025年3月25日の東京証券取引所グロース市場への上場に関わる諸経費による営業外費用を13,196千円計上し、経常利益及び四半期純利益の低減に影響しております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高292,392千円、営業利益45,025千円、経常利益31,059千円、四半期純利益21,163千円となりました。

また、当社は、DXソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は1,436,293千円となり、前事業年度末に比べ328,629千円増加いたしました。これは主に、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う新株発行により現金及び預金が増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は315,371千円となり、前事業年度末に比べ9,658千円減少いたしました。これは主に、前受金が10,961千円増加した一方、未払法人税等が21,440千円、賞与引当金が15,512千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は1,120,921千円となり、前事業年度末に比べ338,287千円増加いたしました。これは主に、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う新株発行により資本金が167,739千円、資本剰余金が167,739千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測上場に関する説明

2025年12月期の業績予想につきましては、2025年3月25日公表の「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」から変更ございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	695,956	991,116
受取手形及び売掛金	119,052	122,799
仕掛品	28,578	37,929
その他	36,721	40,180
貸倒引当金	△473	△655
流動資産合計	879,835	1,191,370
固定資産		
有形固定資産	38,749	37,632
無形固定資産	60,551	65,042
投資その他の資産	128,527	142,247
固定資産合計	227,827	244,922
資産合計	1,107,663	1,436,293
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,906	37,760
未払法人税等	26,510	5,070
前受金	168,507	179,469
賞与引当金	21,300	5,787
その他	74,805	87,284
流動負債合計	325,029	315,371
負債合計	325,029	315,371
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,000	202,739
資本剰余金	—	167,739
利益剰余金	747,633	750,443
株主資本合計	782,633	1,120,921
純資産合計	782,633	1,120,921
負債純資産合計	1,107,663	1,436,293

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	292,392
売上原価	101,603
売上総利益	190,788
販売費及び一般管理費	145,762
営業利益	45,025
営業外収益	
受取利息	313
その他	39
営業外収益合計	352
営業外費用	
株式交付費	6,601
為替差損	1,122
上場関連費用	6,595
営業外費用合計	14,318
経常利益	31,059
税引前四半期純利益	31,059
法人税、住民税及び事業税	2,940
法人税等調整額	6,955
法人税等合計	9,895
四半期純利益	21,163

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事故はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年3月25日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2025年3月24日を払込期日とする有償一般募集増資（ブックビルディング方式による募集）による新株式255,000株の発行により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ167,739千円増加いたしました。

この結果、当第1四半期会計期間末において、資本金が202,739千円、資本剰余金が167,739千円となりました。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）

当社は、DXソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る減価償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	当第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	9,263千円

(重要な後発事象の注記)

(第三者割当増資による募集株式発行)

当社は、2025年3月25日に東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この株式上場にあたり、2025年2月17日及び2025年3月4日開催の取締役会において、岡三証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当増資による募集株式の発行を以下のとおり決議し、2025年4月16日に払込が完了いたしました。

(1) 募集方法	第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出し）
(2) 発行する募集株式の種類及び数	普通株式 6,900株
(3) 割当価格	1株につき 1,315.60円
(4) 資本組入額	1株につき 657.80円
(5) 割当価格の総額	9,077千円
(6) 資本組入額の総額	4,538千円
(7) 払込期日	2025年4月16日
(8) 割当先	岡三証券株式会社
(9) 資金の使途	採用及び人件費、オフィス拡張に伴い増加する地代家賃、広告宣伝費にそれぞれ充当する予定。